


平成29年度	個人研究	校種・領域	小中高特支	P. 71	QRコード
テーマ	絶滅の危機にあるメダカの保全に関する研究				
サブテーマ	沖縄県立総合教育センターに生息するメダカの調査研究を通して				
概要	<p>メダカは小学校5年理科「魚の誕生」において、すべての児童が学ぶ教材である。近年、メダカは減ってきており、沖縄県でもメダカの生息地は減少し、沖縄県レッドデータブックではIA類に分類され、絶滅危惧種である。今回、琉球大学の協力を得て、教材池のメダカが、ミナミメダカ「琉球型」個体群と確認できた。今後の「教育センターメダカ」の保全、学校教材としての適切な活用(混ぜない、放さない、ゆずらない)について考察を行った。メダカの教材化は、生物多様性や自然環境の保全への関心を高めるうえで効果的である。</p>				
キーワード	ミナミメダカ「琉球型」、教育センターメダカ、メダカの教材化、適切な活用(混ぜない・放さない・ゆずらない)、生物多様性の保全				

## イメージ図

- ①「教育センターメダカ」のDNA鑑定
- ②ミナミメダカ「琉球型」個体群の保全
- ③学校教材として活用する場合の留意点  
適切な活用(混ぜない・放さない・ゆずらない)の順守

思考力

判断力

表現力

生物多様性の保全への関心をはぐくまれる

## 成果

- 教材池において、放流飼育してきたメダカがミナミメダカ「琉球型」個体群と確認できた。
- 適切な活用(混ぜない・放さない・ゆずらない)を付し、学校へ教材としてミナミメダカ「琉球型」を提供する準備ができた。
- 絶滅危惧種であるミナミメダカを教材化することで、生物多様性の保全への関心を高める契機とした。